

科目名	社会福祉総論 I					単位	2.0
担当教員	林 博幸						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	4411

●授業のテーマ

社会福祉政策・制度の意義と原理、歴史的発展と今日の動向

●到達目標

現代社会における社会福祉が拡大・変容してきているなかで、その意義や考え方、政策としての位置・役割について基本的な理解を得る。また、わが国における社会福祉の発展史をふまえ、今日の法・制度の体系および改革の具体的な動向を把握する。

●学習内容(授業概要)

社会福祉という政策分野の意義を現代の経済・社会や国民生活の変化からつかみ、その展開を導く思想や理論を深める。また、わが国における社会福祉の成立と展開の過程を戦前から今日へと辿り、その歴史に貫く発展の必然性と到達点を明らかにするとともに、少子高齢社会が抱える課題への対応を目指す最近の改革の推移について考察する。

●学習内容(授業計画)

1. 国民の生活と福祉—その意義と学習の視点
2. 現代社会における社会福祉の拡大
3. 社会福祉の専門職
4. 福祉政策の理論と実際 ①社会福祉の意味と公共政策
5. ②社会政策の体系と福祉政策
6. 福祉の思想と哲学 ①市場と政府
7. ②福祉の思想と「公正性」「公共性」
8. わが国における福祉政策の発展 ①近代化と慈善事業・社会事業
9. ②戦後改革と社会福祉
10. ③高度成長期と福祉政策
11. 少子高齢社会と福祉政策 ①福祉政策の調整と進展
12. ②社会福祉改革
13. 社会福祉制度の体系 ①法・制度としての構造
14. ②措置制度と利用・契約制度
15. 半期のまとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備では、テキストの予習を行って重要な考え方や用語等をチェックしておき、講義でより深い理解を得られるようにする。事後には、自分が関心を深めた内容やテーマ、疑問などをさらに探求する学習を行う。

●成績評価方法・基準

出席状況：3割

期末試験：7割

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『新・社会福祉士養成講座 4 現代社会と福祉』（第4版）、著者名：社会福祉士養成講座編集委員会、出版社：中央法規、販売先：Yショップ、備考：改定があれば、その最新版を用いる。

●参考文献／その他

授業時に紹介する。

社会福祉の小六法（最新のもの）や用語辞典を備えておくのが望ましい（出版社は自由）。

●履修上の注意

社会保障・福祉の制度，国民の労働・生活をめぐる話題や情報について，マスコミ等をつうじて日常的に得ておくこと。